

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-04-02
事務事業名	市営駐車場管理事業	根拠法令・要綱等	備前市営駐車場条例 備前市市営駐車場条例施行規則
事業開始年度	昭和50年-	担当課(室)	日生総合支所管理課
総合計画	大項目 基本目標	問合せ先	日生総合支所管理課
	中項目 基本施策	職・氏名	課長代理 星尾 靖行
	小項目 施策	電話	72-1254

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	公営駐車場を利用する市民及び観光客
目的(何のために)	公営駐車場の整備や施設の適切な管理運営を行うことで、地区住民をはじめ商店街や島民の利便性の向上と駐車違反の防止を図る。
行政活動(どのような方法で)	定期駐車場、一般駐車場の管理運営
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	違法駐車を排除し、安全で生活しやすいまちづくり

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	定期区画数	区画	376(289・87)	374(287・87)	394(314・80)
	定期利用実績	%	88	86	84
	直接事業費	千円	19,600	18,320	17,080
	人件費		7,870	6,732	5,617
	事業費計		27,470	25,052	22,697
	国県支出金	千円			
	受益者負担		20346	20131	19006
	一般財源		7,124	4,921	3,691
	必要人員	人	1.10	0.95	1.00
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	市営駐車場区画数	説明			
	結果指標量	区画	331	321	329
	対前年比	%	-	97.0%	102.5%
	活動コスト	円	27,470,000	25,052,000	22,697,000
結果指標	単位当たりコスト	円	82,991	78,044	68,571
	結果指標量	説明			
	対前年比	%	-		
活動コスト	円				
単位当たりコスト	円				

事業の成果			
成果指標名	駐車場利用率の向上	式又は説明	市営駐車場の利用件数 / 市営駐車場層区画数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	0.88	0.86	0.84
対前年比		97.73%	97.67%
到達目標値	0.90	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えているが、目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	妥当性評価 < A ~ E > A 課題認識
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	日生地域は山地が海岸部まで迫り、宅地が少ないうえ道路も狭小で自宅に駐車場を確保している市民が少ないため、約20年前から行政が駐車場政策に取り組んできました。また、島への観光客の駐車スペースがないことから実施している事業である。しかし現在、商店街の空洞化が進み、民間駐車場も増加傾向にあり、地域によっては見直しを考える必要もある。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価 < A ~ E > B 課題認識	
効率性の評価	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	定期駐車場は半期で使用料の徴収をし、一般駐車場は平成19年から11月から管理人をなくし無人にし経費の削減を図っている。今後、事務処理の面で使用料の請求や収納の事務に改善の余地がある。また、民間委託、指定管理者制度の導入も考えていきたい。
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	頭島・鹿久居島が本土と結ばれると諸島の市民の定期利用者が減少する恐れがあり、また、島内の駐車場政策の検討も必要になってくる。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成20年度の状況		説明	定期船桟橋の周辺の県工事も終了し、利用状況は前年度より増加する。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量	335	結果指標量
	成果指標量		0.85

総合評価		評価区分 < A ~ E > B	
事業実施することで駐車違反の減少、市民の利便性が向上しつつある。定期駐車場については、地域によっては見直しが必要で、将来的には、民間委託、指定管理者制度の導入が必要である。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	民間又は指定管理者制度へ移行	H22 ~ H23	人件費の削減と地域住民等に対するサービスの向上